

Microsoft OutlookをCisco Unified CallManager Expressで利用する

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[インストールおよび設定](#)

[設定例](#)

[手順説明](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Microsoft Outlook を Cisco Unified CallManager Express で使用するための手順について説明します。Cisco CallManager Express の電話の設定、パーソナル コンピュータ (PC) 上の Cisco CallManager Express Telephone Service Provider と Cisco IOSTspLite ドライバのインストール、Cisco CallManager Express によって制御される電話に代わる Microsoft Outlook による着信側のダイヤルを示します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- Cisco Unified CallManager Express
- Microsoft Office Outlook

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified CallManager Express バージョン 4.x
- Microsoft Office Outlook 2003 年

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[ネットワーク図](#)

この資料はこのネットワーク セットアップを、[図 1](#):見ます使用します

- Cisco Unified CallManager Express 実行 on Cisco 3845
- Cisco Unified CallManager Express によって制御される 2 つの IP フォン
- Microsoft Windows XP および Microsoft Office Outlook を経営する 1 台のパーソナルコンピュータ

図 1-ネットワークダイアグラム

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[背景説明](#)

この資料の目的はこれらのタスクを完了することです:

- ウィンドウ XP 専門家を実行する PC で Cisco Unified CallManager Express テレフォニー サービスプロバイダーをインストールして下さい。
- ウィンドウ XP 専門家を実行する PC で Cisco IOSTspLite ドライバをインストールして下さい。
- Cisco Unified CallManager Express に登録されている 1 IP Phone を制御し、Microsoft Outlook を通して別の電話にダイヤルするために Microsoft Outlook を使用して下さい。

[インストールおよび設定](#)

[設定例](#)

設定を開始する前に、Cisco Unified CallManager Express が十分にテストされ、きちんとはたらくことが仮定されます。これら二つの電話はこの Cisco Unified CallManager Express によって制御されます。これらはこれら二つの電話のコンフィギュレーションです:

- A に電話をかけて下さい

```
!--- Line 1 for Phone A ephone-dn 2 number 1000 label 1000 preference 1 call-forward busy
9999 call-forward noan 9999 timeout 10 no huntstop !--- Line 2 for Phone A ephone-dn 4
number A3005 label A3005 name Intecom from Rob intercom A3006 !--- Line 3 for Phone A
ephone-dn 6 2000 label "Paging System" number 61720 pickup-group 5001 label 61720
description 5137426172 call-forward all 7000' call-forward busy 7000 call-forward noan 7000
timeout 10 night-service bell !--- Phone A Configuration ephone 3 description 1000 username
"ksaxon" password test mac-address 000A.8A67.5313 type 7960 keep-conference endcall button
1:2 2:4 3:6
```

- B に電話をかけて下さい

```
!--- Line 1 for Phone B ephone-dn 8 number 7970 label 7970 call-forward busy 9999 call-
forward noan 9999 timeout 10 !--- Line 2 for Phone B ephone-dn 10 number 8970 label 8970 !---
```

- Line 3 for Phone B ephone-dn 12 number 9970 label 9970 !--- Line 4 for Phone B ephone-dn 14 number A3006 label A3006 name Intercom from Rob intercom A300510.C6E2.8F2D !--- Phone B Configuration ephone 7 description 7971 mac-address 0011.92BA.1B12 type 7971 button 1:8 2:10 3:12 4:6

手順説明

次の手順を実行します。

1. Cisco Unified CallManager Express テレフォニー サービス プロバイダーをインストールして下さい: CiscoUnifiedCMETSPSetup201.exe を実行して下さい。 Cisco Unified CallManager Express TSP 2.0 セットアップ ウィザードは現われます。 [図 2 を参照してください。](#) [図 2](#) : Cisco Unified CME TSP 2.0 セットアップ ウィザード[Next] をクリックします。 使用許諾契約 ウィンドウは現われます。 [図 3 を参照してください。](#) [図 3](#) : 使用許諾契約受け入れ使用許諾契約 オプション ボタン同意条項を、『Next』 をクリックしますクリックして下さい。 カスタマー情報 ウィンドウは現われます。 [図 4 を参照してください。](#) [図 4](#) : カスタマー情報ユーザネームおよび会社名フィールドを一杯にして下さい。『Next』 をクリックすれば、セットアップ Type ウィンドウは現われます。 [図 5 を参照してください。](#) [図 5](#) : セットアップの種類 Complete オプション・ ボタンをクリックし、『Next』 をクリックして下さい。 プログラム ウィンドウをインストールすること準備ができたの現われます。 [図 6 を参照してください。](#) [図 6](#) : プログラムをインストールするために用意して下さい[Install] をクリックします。 シスコへようこそ CME TSP セットアップ ウィザード ウィンドウは現われます。 [図 7 を参照してください。](#) [図 7](#) : シスコへようこそ CME TSP セットアップ ウィザード[Next] をクリックします。 動作モード ウィンドウは現われます。 [図 8 を参照してください。](#) [図 8](#) : 動作モードコントロールを IP Phone クリックし、『Next』 をクリックして下さい。 User Preferences ウィンドウは現われます。 [図 9 を参照してください。](#) [図 9](#) : ユーザ設定チェックは返事で話しか、または作成コール 有効にしますトレースを回ります。 トレース レベルを選択し、トレースファイル パスを入力して下さい。 [Next] をクリックします。 Account Information ウィンドウは現われます。 [図 10 を参照してください。](#) [図 10](#) : アカウント情報 CME IP アドレスを、ポート、ユーザネーム、パスワード入力し、パスワードを確認して下さい。 [Next] をクリックします。 CME ウィンドウへの接続は現われます。 [図 11 を参照してください。](#) [図 11](#) : CME への接続それぞれドロップダウン リストから PC IP address および帯域幅を選択して下さい。 [Start] をクリックします。 矢印 A がステータス リスト ボックスのすべてのメッセージを Cisco Unified CallManager Express が PC によってが正常に接触するかどうか確認するために検討するのを [図 11](#) 参照して下さい。 矢印 B を [図 11](#) 参照して下さい。 これは PC と Cisco Unified CallManager Express 間の接続の成功を表します。 メッセージに基づいて、PC は Cisco Unified CallManager Express 制御の下で定義される 3 つの行と正常に 1 台の電話を制御できます。

```
Connecting to host '10.89.177.8' [10.89.177.8]...
Host '10.89.177.8' [10.89.177.8] responded successfully.
32 bytes received in 0 msecs.
Found Router : 10.89.177.8
Success : Registered user with 10.89.177.8
Found line : lineInst 1 dirNumber 1000 displayName 1000
Found line : lineInst 2 dirNumber A3005 displayName A3005
Found line : lineInst 3 dirNumber 6172 displayName 6172
Found line : lineInst 4 dirNumber
Found line : lineInst 5 dirNumber
```

Found line : lineInst 6 dirNumber[Next] をクリックします。 Call Appearance/Feature ボタン ウィンドウは現われます。 [図 12 を参照してください。](#) それは設定される 3 つの行とステップ 15 のステータス リスト ボックスのメッセージと一致する特定の電話を表します。 [図](#)

- 12 : Call Appearance/Feature ボタン[Next] をクリックします。保存コンフィギュレーション変更 ウィンドウは現われます。 [図 13](#) を参照してください。 [図 13](#) : 保存するコンフィギュレーション変更[Finish] をクリックします。PC を再起動します。
2. CiscloSTspLite ドライバをインストールするためにこれらのステップを完了して下さい。CiscloSTspLite1.3.exe を実行して下さい。CiscloSTspLite1.3 ウィンドウのための InstallShield ウィザードへの歓迎は現われます。 [図 14](#) を参照してください。 [図 14](#) : CiscloSTspLite1.3 のための InstallShield ウィザード[Next] をクリックします。使用許諾契約 ウィンドウは現われます。 [図 15](#) を参照してください。 [図 15](#) : 使用許諾契約 (CiscloSTspLite1.3) click | 使用許諾契約の条件を受け入れ、『Next』 をクリックして下さい。カスタマー情報 ウィンドウは現われます。 [図 16](#) を参照してください。 [図 16](#) : カスタマー情報 (CiscloSTspLite1.3) ユーザー名および組織 フィールドを一杯にして下さい。 [Next] をクリックします。プログラム ウィンドウをインストールすること準備ができたの現われます。 [図 17](#) を参照してください。 [図 17](#) : プログラムをインストールするために用意して下さい[Install] をクリックします。Cisco IOS Telephony Service Provider ウィンドウは現われます。 [図 18](#) を参照してください。ユーザー名およびパスワードは [図 10](#) に示すようにユーザー名およびパスワードを、一致する必要があります。 [図 18](#) : Cisco IOS Telephony Service プロバイダ[OK] をクリックします。InstallShield ウィザードによって完了されるウィンドウは現われます。 [図 19](#) : 完了する InstallShield ウィザード[Finish] をクリックします。Reboot ウィンドウは現われます。 [図 20](#) を参照してください。 [図 20](#) : RebootPC をリポートするために『OK』 をクリックして下さい。

確認

Cisco Unified CallManager Express にログインし、`show ephone` コマンドを発行できます。抽出はの示します `ephone` を [図 21](#) あります。それは 64.101.134.165 の IP アドレスがある PC が `ephone-3` を制御すること表します。ユーザ名は `ksaxon` であり、ステータスは登録されています。矢印 A を [図 21](#) 参照して下さい。

図 21 : Ephone を示して下さい

次のステップは Cisco Unified CallManager Express によって制御される電話の表示の Microsoft Outlook が付いている連絡先にダイヤルすることです:

1. Microsoft Outlook を開き、連絡先フォルダを開いて下さい。 [図 22](#) 参照して下さい。
2. 呼出すために連絡先を選択して下さい。 [図 22](#) : 連絡先リスト
3. 指定連絡先を右クリックして下さい。矢印 A を [図 22](#) 参照して下さい。それから、ドロップダウン リストから連絡先を『Call』を選択して下さい。矢印 B を [図 22](#) 参照して下さい。New Call ウィンドウは現われます。 [図 23](#) を参照してください。端 Call ボタンは選択不可能になります。矢印 B を [図 23](#) 参照して下さい。 [図 23](#) : 新しいコール-コール開始
4. コールを『Start』をクリックして下さい。矢印 A を [図 23](#) 参照して下さい。
5. コールが成功する場合、コール開始 ボタンは選択不可能になります。矢印 A を [図 24](#) 参照して下さい。 [図 24](#) : 新しいコール-終わりコール
6. 可聴周波デバイスを持つ被呼加入者と、PC のスピーカーおよびヘッドホーンのような、話すことができます。
7. コールを終了するために終わりコールをクリックして下さい。矢印 B を [図 24](#) 参照して下さい。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)